

中学生の「税についての作文」

福岡県筑後県税事務所長賞

私たちにとって税金とは？

大川市立大川東中学校

三年 古賀 小絢

私たちは普段、税金を払っています。例えば、いつも何かを買ったときには、必ず消費税というものがついていきます。その他にも所得税、法人税などいろいろな形で税金を支払っています。

私は以前まで、何で税金を払わないといけないんだろう？お金払うなんて、いやだなと税金なんて、なくていいのにと、そう考えていました。ですが、税金の使われ方を知って、税金の重要さが分かりました。

私の祖母は、重い病気のせいで、もう何年も前から体が不自由です。自分だけの力で歩くことができないぐらいです。今までに何度も入院、退院を繰り返してきました。今は自分で生活するのが難しいので介護福祉施設にいます。ですが、それにはたくさん費用がかかってしまっています。入院費、治療費、施設のお金や車いすなど、たくさん払わないといけません。

そんなとき、母はいつも、市役所の方に行っていました。なぜいつも

行っているのか気になって、母に聞いてみたところ、介護手当というものの手続きに行っていたそうです。介護手当とは、身体上に障害のある、

身体障害者手帳が交付された人などに対して、毎月手当の支給がされるものです。費用を支出して身のまわりのお世話をする人を雇ったときに支給されます。その介護手当を私の祖母は受けていたのです。介護手当は税金で集まった国のお金から支給されています。そのおかげで、私の祖母は、お金に困らずに、治療や施設で生活することができています。

こうやって、税金に助けられているのは、私の祖母だけでなく、たくさんいると思います。私たち中学生だってそのうちの一人です。学校での教育費を年間で百万円近くも国が負担しているのです。このように、税金は私たちの暮らしに大きく関わり、助けてくれる存在だったのです。実際、国の支出の中で三分の一を社会保障が占めているのです。

ですが、問題も抱えています。それは、少子高齢化によって、社会保障の費用が増えていくのに対し、その費用を負担する働き手が減っていくことです。二〇五〇年には、高齢者一人に対して一・二人で支えなければいけないと推測されています。この問題を乗り越えるためにも、私たちは、税金をしっかり支払う義務を果たさなければいけないと思います。

税金を払うのは、私たちにとってマイナスなことばかりに見えますが、本当は、私たちにとって、なくてはならない存在だったのです。私たちが税金を払うことで、困っている誰かを救うことができます。そして、自分自身を助けることにもなると分かりました。だから、税金をこれからもちろんと払っていききたいです。